

「一麦」展のご案内

2013 年大学美術教育学会京都大会では、大変お世話になりました。その際、滋賀県の障害者支援施設一麦の展覧会を開催したところ、幸い好評でありました。

この度、下記の通り、その2回目ともいふべき展覧会を開催することとなりました。謹んでご案内申し上げます。

記

1. 展覧会名

アート・プロジェクト特別企画 障害者支援施設「一麦」展
社会福祉施設「一麦」美術展

「いのちの色とかたち一色うたう、線・かたち輝く空間へー」

2. 開催日時 2017年10月2日（月）～10月21日（土）

3. 主催 京都教育大学美術科、発達障害学科

4. 場所 京都教育大学 附属図書館

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

5. 協力 社会福祉法人 大木会 一麦

入場無料 時間は、附属図書館の開館時間

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/guide/openhour.html>

6. お問い合わせ先

京都教育大学 美術科教育 村田利裕

〒612-8522

京都市伏見区深草藤森町1番地

TEL 075-644-8313

e-mail : tomurata@kyokyo-u.ac.jp

以上



すべての人に見て欲しい！すべての人に感じて欲しい！！



アート・プロジェクト特別企画 障害者支援施設「一麦」展

いのちの色とかたち

—色うたう、線・かたち輝く空間へ—



1, 開催日時 2017年10月2日(月)

～10月21日(土)

入場無料 時間は、附属図書館の開館時間

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/guide/openhour.html>

2, 場所

京都教育大学 附属図書館

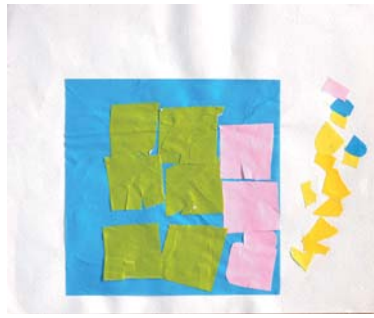
〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

3, 主催

京都教育大学美術科、
発達障害学科

4, 協力

社会福祉法人
大木会 一麦



この展覧会は、障害者支援施設「一麦」利用者の美術作品展です。「一麦」は、開設より50年の伝統のある施設です。近江学園（滋賀県）の教育の継続と発展を図るために設けられました。人・教育・表現に注目するため、京都教育大学の美術科と発達障害学科の特別企画展としてプロデュースいたしました。展覧会では、障害者支援施設「一麦」の芸術表現活動の取り組みと、生活や心の支えを行ってきた関係者の実践的な理念や方法を併せて紹介しています。

展示作品ですが、粘土の作品、布に染料で描いた作品、紙に描かれた作品（裏表両面に描かれています）、布を構成した作品、切り紙の作品など多彩な造形手法で表現されています。個性的で思いにあふれた作品や苦心された作品などをお楽しみいただければと存じます。粘土の作品には、万博公園の太陽の塔で著名な岡本太郎氏が高く評価した作品群があります。2015年の特別企画「土・祈り・イメージーション…岡本太郎の言葉とともに」展（滋賀県立陶芸の森陶芸館）でも紹介されました。これは一例に過ぎませんが、数々の展覧会で好評を得た作品を展示しています。

さらに、これまであまり紹介されていなかった方の作品や、よく紹介されておられる方でもその後の新たな展開の紹介にも力を入れています。お伝えのしやすさから成果を中心に紹介していますが、当然ですが、お一人お一人の取り組む姿こそ重要であり、これまでの成果と関係なく、ご覧いただく方がこの作品に注目したいと思われる作品との出会いを大切にしたいと思っています。

作品は、我々と同じ個人の自由時間を使ったり、活動を選択できる時間などで創作されています。「一麦」の方々の思いの連続性はどのようなところに向かっているのでしょうか？新たな世界は、いかにきり開かれているのでしょうか？是非ご来場いただきご覧いただければと思います。

一方、美術の価値的見方だけでなく、人間の尊厳とそのあり方について多くの方と考える機会としたいと思っています。今日、理解が進み障害児・者と関わり支援を後押ししていきたいと多くの方がとらえておられると思いますが、一麦の方々の作品や支援活動に関わる人達の向き合い方から背中を押され、不思議な元気や勇氣を感じていただけるかもしれません。少しでもこのような交流の場となればと願っています。

本学のように教師教育をめざす大学では、教師ひとりひとりの人間力の育成が問われています。この人間力の育成は一朝一夕にまいるりません。その成長は、多くの機会を捉えて育まれるものであり、人間発見の機会が必要となります。このことは、あらゆる校種の教育関係者に必要であり、本学ばかりか関係の多くの方々の大きな課題ではないかと思えます。ささやかな試みですがこの展覧会が、ひとつのきっかけや機会となればと願っています。人間性豊かな教師への期待は、単に大学関係者だけでなく、「良い教師に会いたい」と心から願うあらゆる国民の期待でもあると信じます。

本学関係者の特別企画展の取り組みは、2013年10月（於：京都教育大学附属図書館）に開催したことがあります。当時、300人以上の方にご高覧賜りました。その後も、地域の方からも「また、しないんですか？感動しました！」と応援の声をもらうことがあります。

一麦（旧：一麦寮）は、1961年（昭和36）年に年長知的障害児の施設として津江市に設立されました。1970年（昭和45年）に現在地の湖南市（当時は石部町）に移転し、1974年（昭和49年）9月に児童福祉施設から知的障害者更生施設へ移行し、男女混合の成人施設として再出発しています。生活目標とされているのは個々の生きる可能性と能力の発見であり、自己の確立とされています。近江学園は、社会福祉の父系賀一雄を中心に、池田太郎、田村一二の熱意で創設されたことでよく知られています。3氏は、はじめ京都を教育実践や理論的な学びのスタートラインとし、滋賀県で成果をあげられました。池田・田村両氏は、京都教育大学のご卒業です。一麦の初代の寮長が、田村一二氏です。氏は、ややもすると手を使った活動という職業教育に結びつける方が多いのですが、障害児・者のなかに流れる人の創造力の基底である「遊びの心」を大きく取り上げました。今日のように混迷を極める時代においてあらゆる人が、人として大切にされることの本当の意味を、作品を拝見しながら今一度考えてみようと思います。教育関係者ならびに多くの方々の高覧を心よりお願いいたします。

京都教育大学



藤森学舎
JR 奈良線：JR 藤森駅下車
徒歩約3分
京阪本線：墨染駅下車
徒歩約7分

附属図書館開館時間

2017年10月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

□9:00-21:00

■9:00-17:00

■休館(CLOSED)

■試験につき学内者のみ利用可(9:00-17:00)

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/guide/openhour.html>